

# VOICE

Volunteers of International Communication & Exchange



## VOL.67

発行日 2018年3月29日

発行 熊本県国際協会

〒862-8570

熊本市中央区水前寺6丁目18-1

熊本県国際課内

T E L 096-385-4488

F A X 096-277-7005

kuma-koku@cup.ocn.ne.jp

<http://www.kuma-koku.jp/>



## 1 国際協会活動報告

- 「第24回熊本国際交流祭典」開催報告
- 肥後っ子わくわく地球教室を開催しました！

## 2 人物・会員団体紹介

- 熊本・モンタナ姉妹友好協会 石原靖也会長
- 崇城大学

## 3 トピックス

- 私たちの活動について ————— 日本現代和装研究会
- 韓国・忠清大学校とのホームステイ交流事業 ————— 天草市
- 熊本市とハイデルベルク市友好都市25周年記念事業 — 熊本日独協会
- 海を渡った作文集（姉妹都市デボンポートとの文化交流） — 水俣市

## 4 会員団体一覧

## 5 会員団体行事予定



第24回熊本国際交流祭典スタッフ一同

## ◆「第24回熊本国際交流祭典」開催報告

2017年11月25日(土)、健軍商店街ピアクレスで「第24回熊本国際交流祭典」を開催しました。平成28年の熊本地震で同商店街は大きな損害を受け、震災直後は多くの店舗が営業できない状態でしたが、今年はアーケードも復旧し、会場を平成27年までと同じ健軍商店街で行うことにしました。

祭典当日は朝から大変冷え込みましたが、たくさんの方にご来場いただきました。ステージでは、アルゼンチンタンゴやジャマイカの伝統民族舞踊、太鼓の演奏などが披露され、国際色豊かな祭典となりました。例年通り、留学生を含む在留外国人の方々と大学生を中心としたボランティアの心温かく、かつ迅速・的確な対応により、来場者にとって楽しい時間となりました。モダン着物ショーやエスペラント語での歌と紙芝居などの新しいステージ披露の他、煎茶試飲、着物着付け体験、世界のグルメ、パネル展示、バザー、スタンプラリーなどのイベントを通じ、来場の皆さんに会員団体の日頃の活動を知っていただくとともに、海外の様々な文化に触れていただくことができました。フィナーレでは「おてもやん」を輪になって踊り、いつもの場所に戻ってこの祭典を開催することができた喜びを、会場の皆さんと分かち合うことができました。

熊本国際交流祭典実行委員会



食品バザー



ジャマイカの伝統民族舞踊



モダン着物ショー



ハンドメイドアクセサリー&雑貨販売

## ◆「肥後っ子わくわく地球教室」を開催しました！

2017年7月4日に玉名ルーテル幼稚園で肥後っ子わくわく地球教室を行いました。ルター宗教改革500年となる年に合わせて当幼稚園が企画し、「世界を知ろう」(ドイツの取り組み)として開催しました。子どもたちは講師からドイツ語での自己紹介・挨拶・国旗の意味などを学びました。

なお、今年度は、当幼稚園の他に、玉名市の中学校や八代市の保育園など様々な学校や地域からの要望により、子どもたちが異文化を体験する機会を多く提供することができました。



クリスティアンALT (山都町教育委員会) によるドイツに関するクイズの様子



## ◆ 人物紹介

今回は、熊本・モンタナ姉妹交流協会の石原靖也会長にインタビューを行いました。

—米国モンタナ州と交流を始められたきっかけを教えてください。

以前、ロッキーフリースクールという夏に2週間ほど子ども達をロッキーの自然の中で遊ばせる教育プログラムがあり、ボランティアでその副校長をしていたのがそもそもの始まりです。実際にモンタナに行ってみると“Nature is Teacher.”ということを実感できました。

—熊本モンタナ姉妹交流協会(当初:モンタナクラブ)を立ち上げられたきっかけは?

細川護熙知事時代に知事と一緒にモンタナへ行く機会がありましたが、そのとき、「モンタナの商品を輸入しよう」という話がありました。モンタナ産のビールを輸入して熊本のデパートなどで売り姉妹友好関係をアピールしようとしたのですが、そういった動きの中で、「民間交流団体を立ち上げよう」という話になったのがきっかけです。

—モンタナ州との交流においてこれまでの一番の思い出は?

ある時モンタナで街中に森が走っているのを見て驚きました。森の景色を描いたものをラッピングしたバスだったので。すぐに「是非これをモンタナバスということで熊本でもやりたい」と思い、県内のバス会社各社に相談したところノンステップバスをラッピングすることになりました。しかし、当時日本にはバスをラッピングする技術はなく、シアトルの会社から熊本まで来て頂きました。モンタナバスが熊本の街を走ったときは感動しましたよ。

—これからどういうことをやっていきたいですか?

今の若者はだんだん内向きになってきていて、海外に出て行くということが少なくなっているのではと思います。

モンタナは熊本の人達を家族のように大切にしてくれますし、留学先として最も安全な所だと思っています。「海外にどんどん出て行ってみませんか。貴重な経験ができ、視野が広がりますよ。」と若者の背中を押すようなメッセージ集を姉妹交流35周年の記念事業としてやっていきたいと考えています。以下の紹介をご覧ください。



モンタナでの石原氏



モンタナバス(ノンステップバスをラッピング)

## “You Do Change the World” Project

(「君が世界を変える」プロジェクト/略称Do Project) のご紹介

地球温暖化、貧困、経済摩擦、国際協力など世界は様々な課題に直面しています。熊本・モンタナ姉妹交流協会では、このような課題に挑戦しようと海外を目指す若者の背中を押すプロジェクトに取り組みます。今から約150年前、熊本の偉人横井小楠は留学する甥に「大義を四海に布かんのみ」と励ましています。現代の若い挑戦者にも、世界に飛び出した先輩たちをはじめ多くの皆様から勇気の言葉を贈っていただきたいと思います。詳しくは熊本県国際協会ホームページ内「お知らせ」をご覧ください。

## ◆ 会員団体紹介—崇城大学

崇城大学では、グローバル人材の育成に注力しています。本学の国際交流センターで多種多様な研修を企画したところ、ここ数年は、毎年200名を超える学生が研修で海外に出かけています。同時に、年間約100名以上の外国人留学生を受け入れています。

その結果として海外の大学との交流もますます盛んになり、2016年11月には、熊本県・市と友好関係にある台湾高雄市の「高苑科技大學」と大学間協定を締結し、毎年お互いの学生が訪問し合い交流を深めています。また、熊本県が友好協定を結ぶインドネシア・バリ州にある「国立ウダヤナ大学」と本学は、2018年2月に大学間交流覚書を交わしました。同時期に本学学生は外務省が支援するJENESYSプログラム2017でウダヤナ大学を訪問し、活発な学生交流によって相互理解を深めました。

2016年11月インドネシア・バドミントン協会・選手団の来熊に伴い、インドネシアからの留学生3名が通訳として協力したことで、滞在中の諸行事が順調に進みました。これを機に、2020東京オリンピック・パラリンピックにおける熊本へのインドネシアバドミントンチームの事前キャンプ誘致に成功したと聞いています。本学留学生が熊本県における国際交流の一翼を担えたことを誇りに思います。

2017年12月に東京で開催された「第6回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」では、ベトナムからの留学生と日本人学生による3名の混合チームが出場し、全国総勢641名のエントリーの中から、最優秀賞である文部科学大臣賞を見事獲得しました。今回の受賞は、本学の英語教育と起業家育成教育の相乗効果が英語表現力に活かされた結果であり、着実にグローバル人材が育っていることを証明しました。

本学のこのような国際交流の取り組みによって、熊本でも世界でも幅広く活躍できるグローバル人材が育ち、地方創生がさらに進むことを期待します。



熊本県・文徳学園・熊本日豪協会・崇城大学共催  
オーストラリア訪問団歓迎会

崇城大学国際交流センター



オーストラリア訪問団メンバーとくまモン



留学生との交流サークルでのランチ会の様子



## ◆ 私たちの活動について——日本現代和装研究会

私たち日本現代和装研究会は、外国人の方々に日本文化の体験として日本の伝統衣装着物（男性は袴女性  
は振袖）の着付けを行っております。

去る1月8日熊本市青年会館で行われた成人式で、「日本の成人式」の体験をしてもらおうと、熊本大学と熊本学園大学の20歳の留学生男女合わせて10名に着付けを行い、日本の新成人と同じように振袖・羽織袴姿で式に参加してもらいました。留学生達は満面の笑みで成人式を楽しんでいらっしゃいました。後日頂いた「感謝の手紙」から、慣れない日本語で一生懸命書かれたことがうかがえ、私たちにとっては何よりの励みとなりました。

また同じ1月に、国際協力機構JICAの海外研修生の「着物、お茶体験」を国立病院機構熊本医療センターで行いました。1~2ヶ月間という短い期間で日本各地を回られるJICA研修生の皆様は、熊本で着物を着てお茶を体験するというプログラムを大変楽しみにされていると聞き、そのプログラムに携われることを大変嬉しく思っております。

今後も各国の方々が熊本に来られ、着物を体験されることを願って活動していきたいと思っております。やはり着物を着られた時の外国の方のうれしそうな笑顔、いくつもポーズをとり写真に収められたり、着付けた私たちと一緒に写真を撮ったりとわずかな時間ではありますが、外国の方々とのコミュニケーションは私達にとっての楽しみでもあります。外国の方を対象にイベントをお考えの際は是非とも着物体験を取り入れていただき国際交流につながればと思っております。

日本現代和装研究会代表 木下 知子



式典を終えて

## ◆ 韓国・忠清大学校とのホームステイ交流事業——天草市

天草市では、2006年11月に「天草市と忠清大学校との官学協同に関する協定」を締結し、ホームステイ交流事業や専門大学生グローバル現場実習などの人材育成並びに学術・文化交流を行っており、これまでに双方で100名を超える学生などが参加しています。

2017は、7月に忠清大学校から8名の学生が本市を訪れ、市内ホストファミリー宅にホームステイを行いながら、県立牛深高



牛深高校の学生と七夕短冊も書きました！

等学校の生徒との交流や世界

遺産登録を目指す崎津集落の見学、イルカウォッチング体験などを楽しみました。8月には市内の生徒7名が忠清大学校を訪問し、4泊5日のホームステイ交流事業を行いました。

日本の自治体と韓国内の単独大学校が協定を締結しているのは稀な事例であり、今後も連携を深めながら様々な取組みを展開していきます。

天草市総合政策部政策企画課



イルカウォッチングには大興奮でした

## ◆ 熊本市とハイデルベルク市友好都市25周年記念事業——熊本日独協会

本協会は1962年11月16日に創立され、現在の会員は160名ほど、ドイツに関心がある方々が様々な活動を行っています。また、1992年、「熊本市とハイデルベルク市が友好都市締結」を機に熊本日独協会内に「熊本・ハイデルベルク友の会」を併設しました。どなたでも自由に入退会できます。

熊本日独協会では、熊本市とハイデルベルク市の友好都市締結25周年を記念し、2017年9月29日から10月6日にかけて「熊本市・ハイデルベルク市友好都市25周年記念旅行」を20名のメンバーで実施しました。



熊本日独協会折り紙体験  
(ハイデルベルク)

メイン行事は9月30日、現地の「ハイデルベルク収穫祭」に合わせ、昼に書道、折り紙、竹細工、おてもやんサンバなどの日本文化交流を行い、夜は「ハイデルベルク・熊本友の会」等の皆さんとの交流会でした。



ハイデルベルク城内にて



創立15周年記念コンサートの様子

また、11月26日、熊本日独協会合唱団「コール・クライゼルの創立15周年記念コンサート」をルーテル健軍教会で実施。ドイツ民謡やシューベルト作曲「ドイツミサ」全曲などを演奏し、満員の聴衆から好評を得ました。

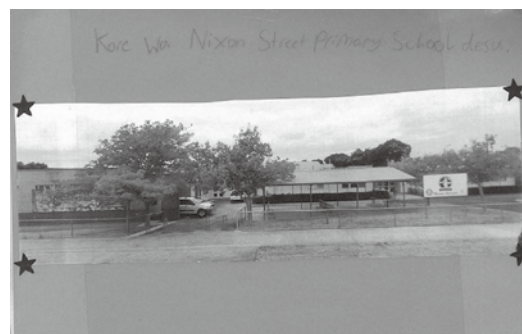
熊本日独協会事務局

## ◆ 海を渡った作文集（姉妹都市デボンポートとの文化交流）——水俣市

2017年9月に、水俣第二小学校の子どもたちが、紙で作ったカンガルーと一緒に、地元にあるいろいろな場所を訪れ、そこでそのカンガルーと一緒に写真を撮って、旅行記（日記）としてまとめた文集を、姉妹都市のオーストラリアのデボンポート市へ贈りました。

この事業は、水俣の子どもたちの地元に対する知識や認識、文化的理解を深め、加えて姉妹都市との関係を強くすることなどを目的に実施しました。

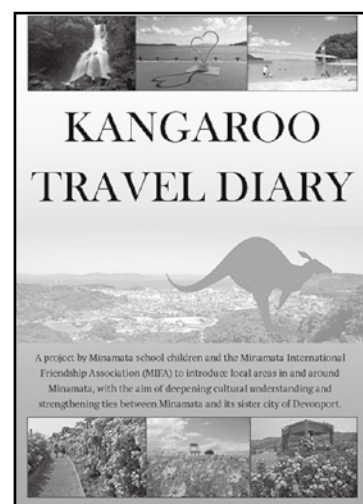
子どもたちは興味のある場所について一生懸命面白い紹介文を書いて、水俣の名所などをオーストラリアに発信することができました。



贈られてきた作文集（上にローマ字で「これはニクソンストリート小学校です」）

そして、2017年12月には、デボンポート市のニクソンストリート小学校からお返しの作文集が贈られました。デボンポートの子どもたちも写真を使って、日本語でオーストラリアの学校生活や食べ物などを紹介してくれました。

今後も様々な分野で交流を続け、姉妹都市の友好関係を更に深めていきたいです！



カンガルー旅行記  
(水俣→デボンポート)

水俣市総合政策部 政策推進課



芦北町国際交流協会	熊本県少林寺拳法連盟	熊本ユネスコ協会
ありあけ国際交流協会	熊本県私立大学協会	熊本ラオス友好協会
大津町国際交流協会	熊本県私立中学高等学校協会	熊本ロータリークラブ
五ツ太鼓 彩流	熊本県青年海外協力協会	熊本YWCA
(一財)熊本市国際交流振興事業団	熊本県町村会	(公社)日本青年会議所 九州地区熊本ブロック協議会
(一財)九州ミャンマー友好協会	熊本県テコンドー協会	(公財)熊本YMCA
(一社)熊本県銀行協会	熊本県日韓親善協会	(公財)熊本県体育協会
(一社)熊本県歯科医師会	熊本県日中協会	甲佐町国際交流協会
(一社)熊本青年会議所	熊本県日中友好協会	国立大学法人 熊本大学
(一社)熊本県貿易協会	熊本県農業協同組合中央会 (JA熊本中央会)	国立病院機構熊本医療センター
NHK熊本放送局	熊本県ハンガリー友好協会	ザ・フレンドシップフォース・オブ・熊本
王栄国際交流委員会	熊本県ユニセフ協会	尚綱大学(国際交流委員会)
(株)熊本県民テレビ	熊本県立大学	世界平和女性連合熊本県連合会
(株)熊本日日新聞社	熊本県ライオンズクラブ奨学会	崇城大学
(株)熊本放送	熊本-広西歯科医療交流協会	タイとの交流の会(谷口プロジェクト)
(株)テレビ熊本	熊本国際教育を進める会	玉名国際交流協会
空手道空心会	くまもと国際協力連合会	東海大学 九州キャンパス
菊池国際交流協会	熊本市	NPO法人 熊本インドネシア友好協会
九州産交ツーリズム株式会社	熊本市北部国際青年交流会	NPO法人 熊本日越協会
九州ルーテル学院大学	熊本スペイン協会 (グルーボ エスパーニャ)	NPO法人 れんげ国際ボランティア会
熊本アイルランド協会	熊本中央高等学校	内閣府認証NPO法人 青少年異文化交流推進協会
熊本エスペラント会	熊本電気鉄道株式会社	和水町
熊本外国人妻の会 (熊本外国人妻と日本人妻の会)	熊本同時通訳者協会	日本現代和装研究会
熊本学園大学	熊本日伊協会	ハワイアンフラ ピカケスタジオ
熊本経済同友会	熊本日英協会	人吉市国際交流協会
熊本県	熊本日加(カナダ)協会	平成音楽大学
熊本県海外技術研修事業後援会	熊本日韓文化交流研究会	フェアトレードくまもと推進委員会
熊本県協力隊を育てる会	熊本日米協会	水俣国際交流協会
熊本県国際教育研究会(熊海国研)	熊本日独協会 /熊本・ハイデルベルク友の会	MATEインターナショナル倶楽部
熊本県国際農友会	熊本日伯協会	山鹿日韓親善協会
熊本県市長会	熊本日仏協会	ラボくまもと
熊本県商工会議所連合会	熊本むくげの会	ワシントン外語学院
熊本県商工会連合会	熊本・モンタナ姉妹交流協会	98団体(2018年3月1日現在)

事業名	開催日時・場所	事業内容	主催・連絡先
国際青少年事業	2018年5月 熊本市内の小学校	小学生が世界各国の人たちと交流して、国際意識を育みます	一般社団法人 熊本青年会議所 矢野 嘉宏 096-352-6655 <a href="http://www.kumamotojc.com">http://www.kumamotojc.com</a>
第20期市民講座 「ヨーロッパのふるさと： ケルト（アイルランド）の心」	2018年5月26日（土） 14:00～15:30 （株）お菓子の香梅 帯山店 ドゥ・アート・スペース	「アイルランド（人）と日本（人）の比較」と八田茂樹氏（熊本高専熊本キャンパス名誉教授）演題「アイルランドとオーストリアーその比較地誌一」で講座を開講します	熊本アイルランド協会 菅原 元子 096-366-5151 <a href="http://www.kumamoto-ireland.org/">http://www.kumamoto-ireland.org/</a>
	2018年7月28日（土） 14:00～15:30 小泉八雲熊本旧居	「ケルトの妖精・日本の妖怪」と題し坂本弘敏小泉八雲熊本旧居館長に講演していただきます。この市民講座はケルトの心と日本人の心との快い共鳴の場です。どうぞ来て楽しんでいただければ幸いです。	
	2018年9月29日（土） 14:00～15:30 （株）お菓子の香梅 帯山店 ドゥ・アート・スペース	高木朝子 熊本高専熊本キャンパス准教授に講演していただきます。演題「調整中」です。	
	2018年10月27日（土） 14:00～15:30 （株）お菓子の香梅 帯山店 ドゥ・アート・スペース	伊藤利明氏 熊本高専熊本キャンパス共通教育科教授の講座を開講します。	
	2018年11月17日（土） 14:00～15:30 （株）お菓子の香梅 帯山店 ドゥ・アート・スペース	ハーン、母の記憶とふるさとへの想い（朗読とおはなし）と題し石路 <small>つわぶき</small> の花の会（代表 斉藤幸子）の講座を開講します。	
トリニティー・アイリッシュ・ダンス	2018年6月27日（水） 市民会館シアーズホーム 夢ホール	トリニティー・アイリッシュ・ダンス熊本公演を開催します。世界チャンピオングループが贈る怒涛のタップダンスをお楽しみください。	
ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）顕彰事業 ～日本の面影～紺野美沙子の朗読と音楽とトーク	2018年 9月2日（日） 13:30開場/14:00開演 市民会館シアーズホーム 夢ホール	熊本の創造的復興と小泉八雲熊本旧居の再開を記念して、紺野美沙子によるハーン作品の朗読会を行う。9月26日は八雲忌であるため、それに近い9月に開催する。	
ソフィア・キプルスカヤ（ハープ）演奏会	2018年11月22日（木） 15:30開場/16:00開演予定 古今伝授の間 （水前寺成趣園内）	マリンスキー劇場の首席奏者、ヴァレリー・ゲルギエフが愛でるサンクトペテルブルクの琴姫、初来日。魅惑のハープ音楽名作選：マックスウエル／引き潮 スメタナ／モルダウ ドビュッシー／2つの前奏曲 ラモー／ジブシーの女 ほか	

## 広報誌「VOICE」の編集委員

上野淳（熊本日報協会）、上村勝代（熊本市北部国際青年交流会）、大舘敬七郎（（一社）熊本青年会議所）、石岩（東海大学）、神保勝己（（公財）熊本YMCA）、草壁克己（崇城大学）、藤門豊明（熊本アイルランド協会）、毛利秀士（熊本むくげの会）、協会事務局